

スリッピング技術で産業の一翼を担う企業 —大電流から微小電流まで各種の用途に応じたスリッピング開発—

東京通信機材株式会社

東京都大田区矢口1丁目23番5号
TEL 03-3759-3311

今回ご紹介する東京通信機材(株)は、大正10年にカーボン製品製造販売メーカーとして発足、その後新規事業展開として昭和50年前後よりスリッピングの製造販売を中心とした事業展開を行っている企業です。本社は東京都大田区、福島県白河に工場があり、2000年にはISO9000を取得され、品質管理にも取り組んでおられます。2001年に就任した社長は、とても若く、常に技術の研鑽に努めておられます。

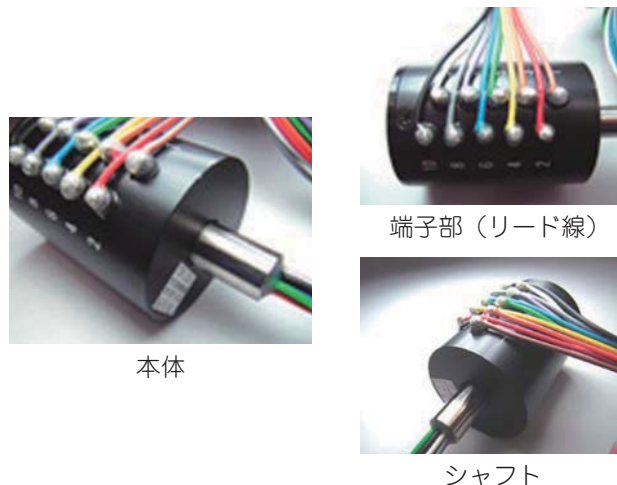


図1 東京通信機材株式会社本社

顧客のニーズに合わせた商品の提供

スリッピングは、静止体から回転する機械に対して電力や電気信号を伝達したり、また回転体から固定部へ受電することができる装置(製品)です。各種レーダー・ビデオ・監視カメラ・医療機器・測定器・測量機・包装機械・印刷機・半導体製造装置(各種ライン製造機械)・工作機械・アミューズメント機器・ロボットアーム等の幅広い分野にスリッピングが使用されています。

これまで数多くの顧客のニーズに合わせた製品作りに対応してきた実績により、大電流のもの



本体

端子部(リード線)

シャフト

図2 スリッピング

のから微弱電流のもの、 $\phi 2000$ を超える径のものから、 $\phi 13$ 程度のものまで、多種多様なスリッピングの設計・製造・販売を手掛けてこられました。また近年は、スリッピングにて数多くの材質を使用する事が多いため、金属切削品の製造・販売を手掛けておられます。

新たな技術への挑戦

スリッピング表面に付着したごみ等により、接触点の開離が影響し、それを回避する検査装置の開発により品質向上に向けた取り組みや、近年、電子機器の高周波化に伴い、スリッピングを伝わる信号も高周波化しており、高周波化に対応したスリッピングの開発等、新たな技術開発に取り組んでおられます。

これらの開発を通じ、都産技研の受託研究やオーダメイド開発事業をご利用頂いており、今日も継続して開発を進めております。

開発本部開発第一部

エレクトロニクスグループ <西が丘本部>

小林丈士 TEL 03-3909-2151 内線447

E-mail: kobayashi.takeshi@iri-tokyo.jp